

# 災害犠牲者遺族対応バーチャル訓練の 効果検証

熊谷章子<sup>1</sup> 赤平美津子<sup>2</sup> 齋藤多佳子<sup>2</sup> 大塚耕太郎<sup>2</sup>

1 岩手医科大学法科学講座法歯学・災害口腔医学分野

2 岩手災害派遣精神医療チーム

# 日本災害医学会 COI開示

筆頭発表者名：熊谷 章子

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある  
企業などはありません

われわれの取り組みが目指すもの

災害時の「死」への対応モデル構築

# 諸言

令和4年度 岩手県総合防災訓練の行方不明者相談受理・遺体引き渡し訓練では、遺族役がシナリオに沿って演じ、プレイヤーはブラインドで対応する形で実施

その様子を撮影し、訓練映像を保存

行方不明者相談受理訓練



遺体引き渡し訓練



2022年10月29日  
令和4年度岩手県総合防災訓練 行方不明者相談受理訓練・遺体引き渡し訓練  
(大船渡市旧越喜来中学校)

# 諸言

訓練終了後、その訓練に関わった多職種の人たちと映像を視聴（訓練振り返り会）



他職種の役割を理解するとともに、自身の遺族対応を振り返り、感想・反省等の意見を収集



2022年12月8日  
令和4年度岩手県総合防災訓練  
行方不明者相談受理訓練・遺体引き渡し訓練振り返り会  
(大船渡市民文化会館)

# 諸言

振り返り会の参加者による意見を反映させた、配慮が必要なポイント毎に注釈を挿入した約30分のバーチャル訓練用教材を制作

岩手県内の全市町村、警察本部、所轄警察署、海上保安部に教材DVDを配布



警察による基本的事項の聴取

ご遺体との対面

市役所での書類作成

## DVDを配布した各機関に、視聴後のアンケートを実施

まず、対応者は相談者に自己紹介をしましょう  
現時点では「遺族」ではなく「行方不明者家族」

死体発見時の状況について  
もっと詳細に説明すべきかもしれません

火葬を他の市町村で実施する場合  
別途手続きが必要です  
市の職員は再確認しておく必要があります

公益財団法人さんりく基金 令和4年度調査研究事業助成金により実施

# 方法

DVD配布約3か月後に市町村役場(33)、警察本部検視官室(1)、所轄警察署(16)、海上保安部(2)へアンケート用紙を送付、回収

## 質問項目

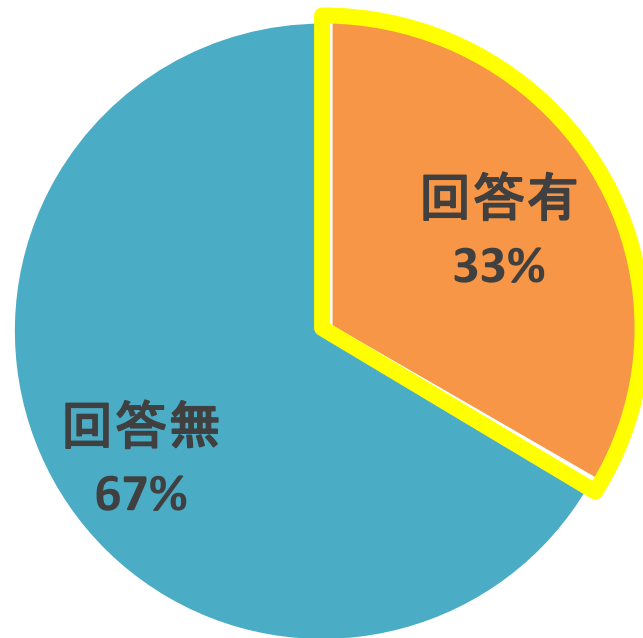
- ✓ 内容の理解 「映像の内容は理解できましたか？」
- ✓ 映像の有効性 「今後の訓練や有事に役立つ映像でしたか？」
- ✓ 事前知識 「災害犠牲者遺族対応の過程を知っていましたか？」
- ✓ 訓練への興味 「同様の訓練に参加してみたいですか？」
- ✓ 視聴者への心的影響 「視聴によって精神的苦痛を感じましたか？」
- ✓ 遺族心情の理解度 「遺族の心情を理解できましたか？」

# 結果と考察

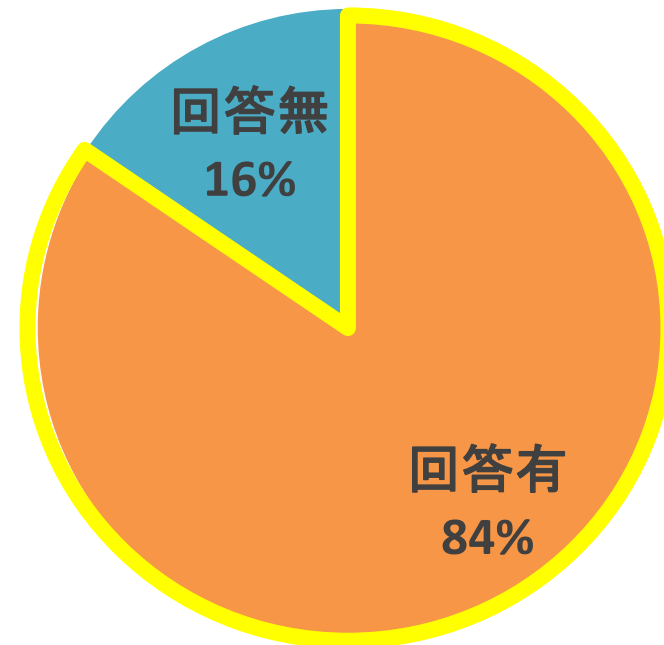


# 回収率

## 市町村役場

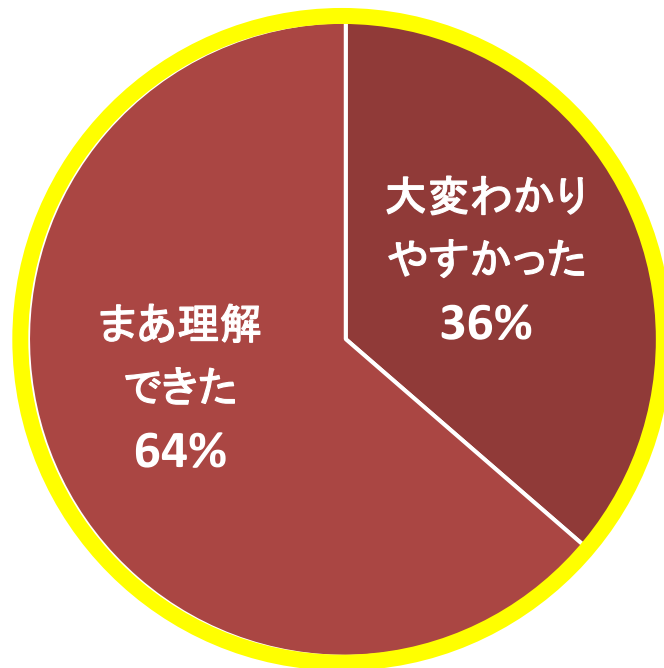


## 警察・海保

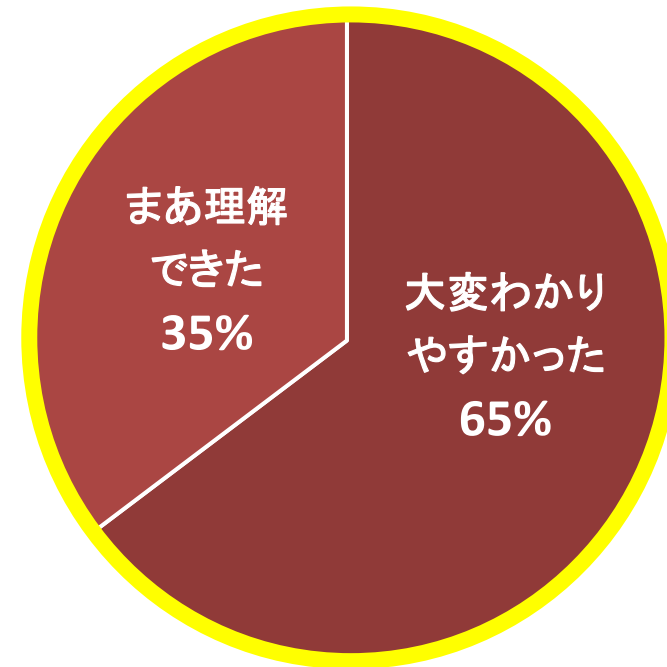


# 映像の内容は？ —内容の理解—

市町村役場

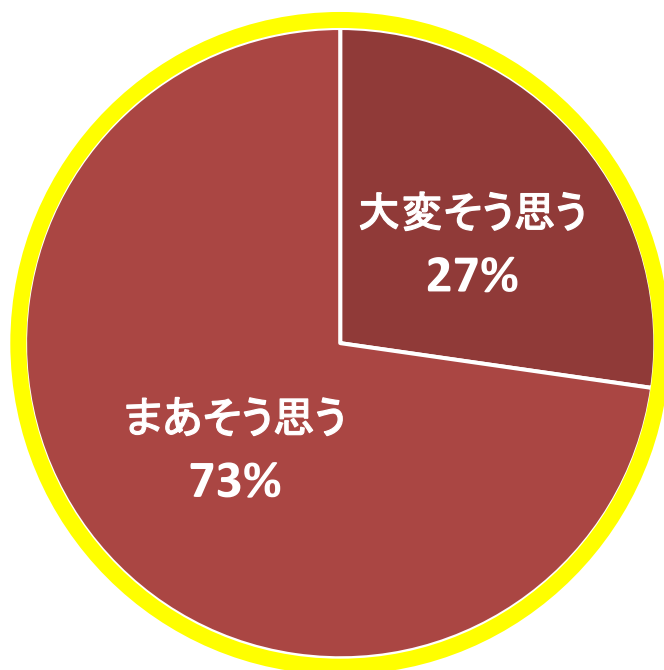


警察・海保

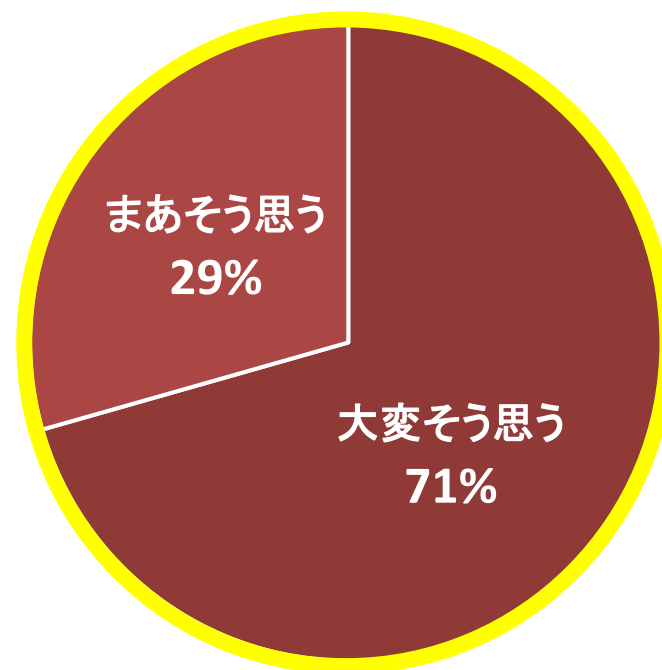


# 今後の訓練や有事に役立つ映像でしたか？ －有効性－

市町村役場



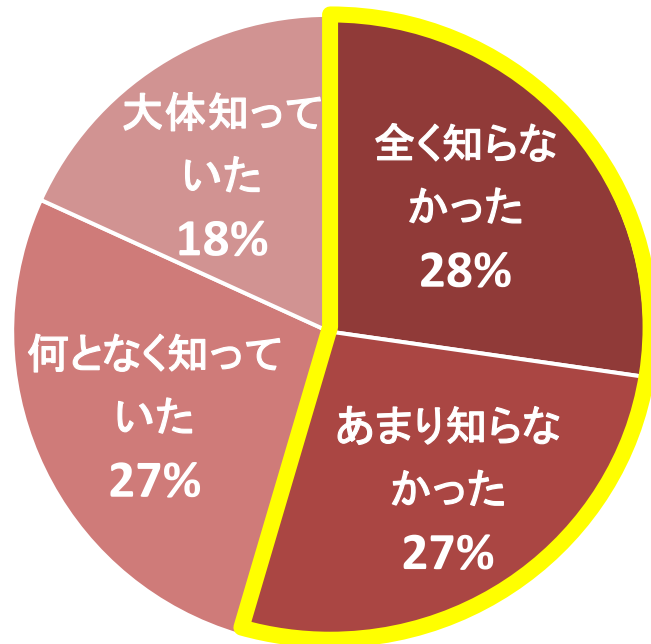
警察・海保



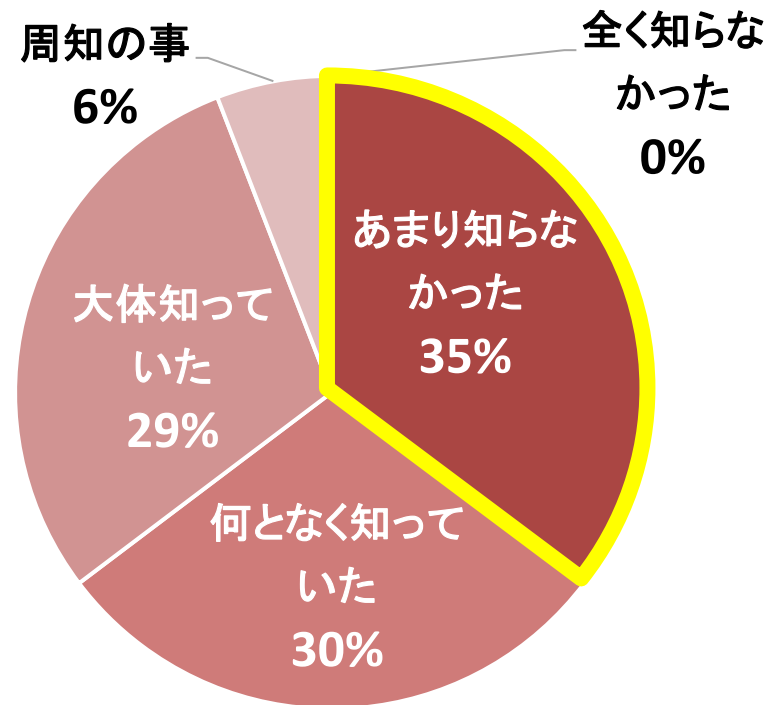
# 災害犠牲者遺族対応の過程について

## —事前知識—

### 市町村役場



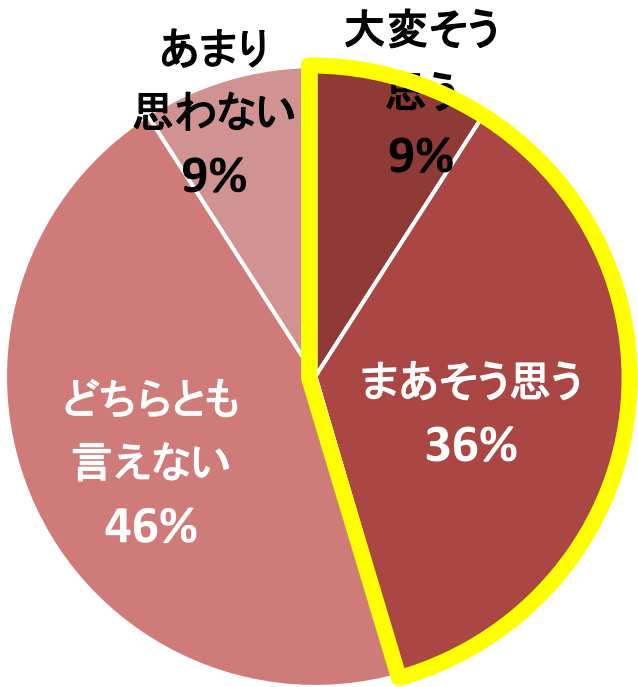
### 警察・海保



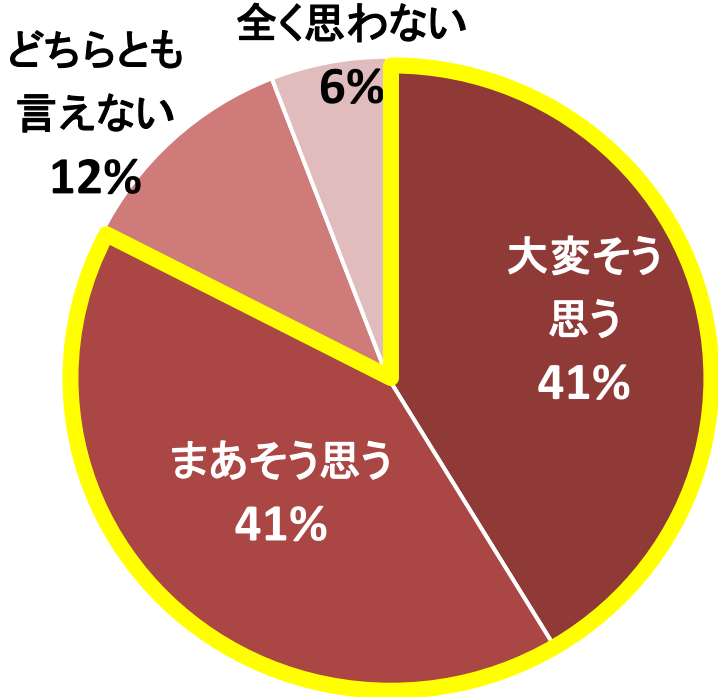
# 同様の訓練に参加してみたいですか？

## —訓練への興味—

### 市町村役場

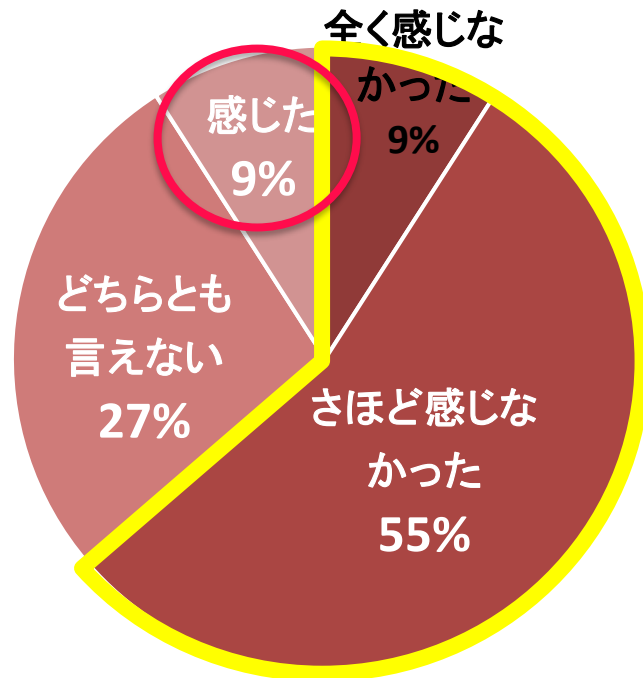


### 警察・海保

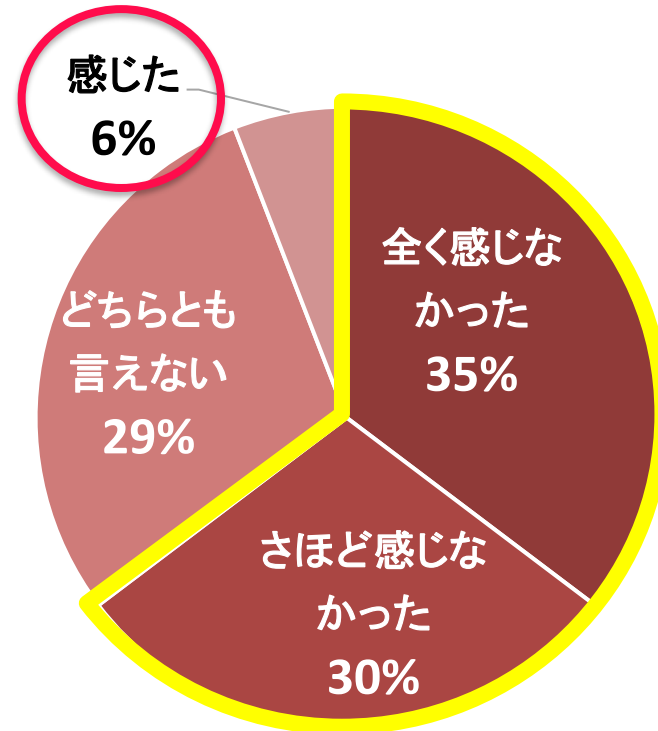


# 視聴による精神的苦痛を感じましたか？ —視聴者への心的影響—

## 市町村役場

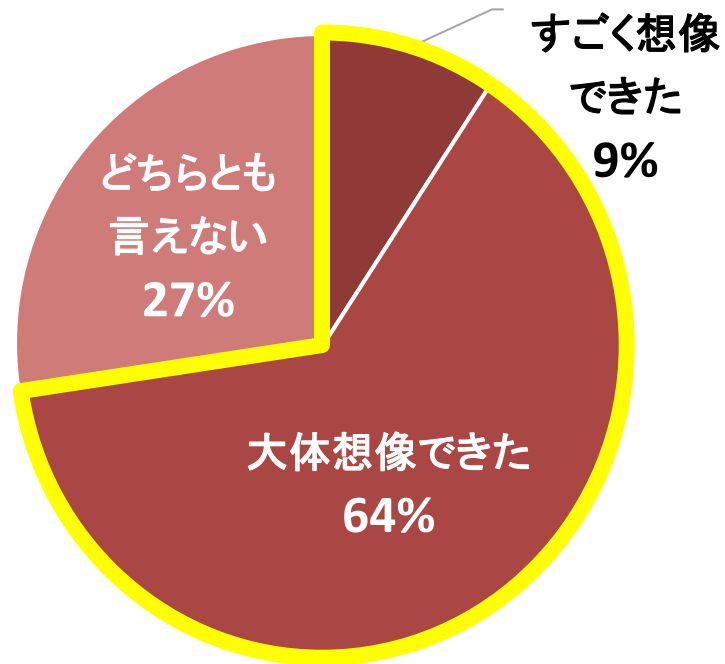


## 警察・海保

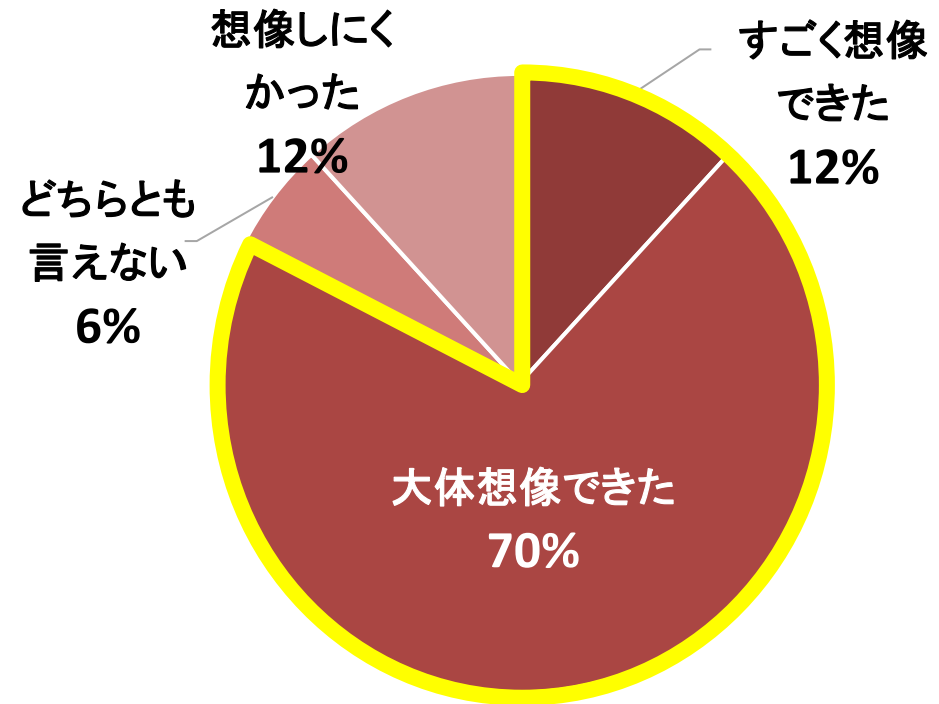


# 遺族の心情を想像できましたか？ —遺族心情の理解—

## 市町村役場



## 警察・海保



# 今後の予定と課題

5年間の計画事業(2021年～2025年)  
複数のバーチャル訓練教材完成を目指す



被災者・犠牲者・遺族・災害対応者の精神的支援を考慮した  
理想的な災害時の「死」への対応モデル構築へ

可能な限り